

Title	前論文の誤謬ニツイテ
Author(s)	南雲, 道夫
Citation	全国紙上数学談話会. 20 p.none-p.none
Issue Date	1934-11-20
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/73897
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

60. 前論文、誤認ニ付

紙上談話会第6号 澤田先生、問題ニ付、私が同紙第7号にて述べた通り、
南無道夫 (阪大)

有心閉曲面ニ於テ、ソノ中心ヨリ、ソノ表面ニ下セル法線ノ数、少クモ六ツアル(ニツ、
中心ヲ対テ対稱ナル)

トユウ定理ノ証明ハ正シクアリマセン。ソノ誤認ハ私が談話会ハ原稿ヲ送リテカラ
間モナリ、氣ヲ付コシカ。私ノ平素ノ無精カラ、ソノマヽニマデマヒンタ。然ルニ、ソノ後
官能カクモ、ソレニ對テ、御意カナイデ。イツマデモ、黙ッテ置ク事モ、申訳ナキ事ト思ヒ
一言述べテ、オキマス。

言正明ノ誤認。私ノ証明ノ最後ノ所アリマス。即チC, C'カ存在スルアリマデハ、正シ
イデスガ、OCカ法線トナリ事。一般ニ、正シクアリマセン(私ノソレヲ容易ニ証明
出来ルカ、畧スルナドト、添テモナイ事ヲ言フテ、シマヒマシタ)

然レカ、問題ノ定理ハ正シイ事。PoincaréノIndicatrix (Vectorfield
ニ因スル)ノ考ヘニヨリテ証明出来ルト思ヒマス。

即チ中心カラ、表面ヘノ距離ヲハ、ソノ表面ノ点ノ函数トスル時(ニツ、 $U(P)$ デモ
 $\text{grad } U(P)$ ナルVectorfieldカ表面上ニ考ヘラレマス。中心カラ表面ヘノ直線OPカ
法線トナルハ、T度

$$\text{grad } U(P) = 0 \quad (\text{Vector field})$$

ナル点アリマス。之、即チVectorfieldノ特異点デス。所デ、中心カラノ距離ハ
Maximumトナリ又Minimumナル所デハ、ソノ特異点、Indicatrixカ圖ヲ
トスルコトナリマス (Indicatrixトユウハ、特異点ノヨリヲ一週スル時



Vectorノ向キガ何回轉スルカ示ス数デス。正則点デス
0デス) 次ニMaximumニ相当スル一点ヲ平面ノ無限遠ニ
移シテ、曲面ヲ全平面ニ、topologisch abbildenスルハ(之、曲面ノ
Geschlecht = 0ト假定スルカデス) Indicatrixノ(∞ナル点ヲ
ノゾイテ)總和ハ1デナルハナリマセン。所カ、 $E = \infty$ ヲ除イテ3点

Indicatrixカ1ナル点カ存在スルカラ (Max. Min. 各ニツ) 少クモ一ツ

マイナズ、Indicatrixヲ持つタ点カアリマス(一種ノ不安定點) 有心曲面ナル
事カラ、ソレガニツナリニナリ事ガワカリマス(言正明)

以上、最密ニ述べマセンデシカ、之ニヨリテ、最密ニ言正明ノ出来ル事、明カト思
ヒマス。此ノ方法ニヨリ、一般ニGeschlechtノ数カ高イ曲面ニツイテモ、同ホキヲ研
究ガ出来ルワケデアリマス。